


くすりのしおり

注射剤

2021年08月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。	
商品名:アイモビーグ皮下注 70mg ペン 主成分: エレヌマブ（遺伝子組換え）(Erenumab(genetical recombination)) 剤形: 注射剤 シート記載:	
この薬の作用と効果について 片頭痛を引き起こす原因物質であるカルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）の受容体への結合を防ぐことにより、片頭痛発作に関与するシグナル伝達を阻害し、片頭痛発作の発症を抑制します。通常、片頭痛発作の発症抑制に用いられます。起こってしまった片頭痛発作を改善する薬ではありません。	
次のような方は使用前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。 ・妊娠または授乳中 ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。 	
用法・用量（この薬の使い方） <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの用法・用量は（（:医療担当者記入） ・通常、4週間に1回皮下に注射します。 ・一定期間使用したあとで、効果を見ながら使用期間を決めていきます。 	
生活上の注意	
この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用） 主な副作用として、便秘、注射部位反応（紅斑、かゆみ、疼痛、腫脹など）、傾眠などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。 まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。 このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・発疹、発熱、まぶた・口唇周囲のはれ、呼吸困難 [重篤な過敏症反応] ・便秘が回復しないまたは悪化した場合 [重篤な便秘] 以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。	
保管方法 その他	
医療担当者記入欄	年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。